

ダンプ通信

広島のだんぷ労働者の新聞

過積載を根絶し、賃金（単価）引き上げや、ダンプ規制法に基づく12条団体の使用促進などを前進させるため、ダンプキャラバンに取り組みます。（第25回）

労働組合の真価が問われる行動、力を合わせて成功させよう！



昨年のダンプキャラバン、写真上は中国地方整備局、下は広島市への要請書を渡す小林豊教議長（2017年7月18日広島市）

建交労広島ダンプ支部は七月一日（火）と同一八日（水）の二日間、第二五回ダンプキャラバン行動に取り組みます。一日目は広島市を中心に、二日目は午前中の要請終了後、福山市に移動します。新しい執行部体制のもとで取り組みます。

「日建連」事務所にはじめて要請・懇談します

一日目は国土交通省中国地方整備局、広島県土木建設局、広島県警本部、そして日建連（日本建設業団体連合会）中国支部、広島市の五カ所に要請懇談します。「日建連」事務所とは初めてです。二日目は午前中広島県建設工業協会に午後は福山市、広島県東部建設事務所にて要請・懇談を行います。要請・懇談先には武田事務局長を先頭にキャラバンメンバーも渡し、趣旨説明を行いました。

「過積載の根絶、労働条件改善」、ダンプ規制法の原点に立ち使用促進運動に取り組み中です

今年のダンプアンケート（六〇人分集約）でも「単価は変化なし」が五一人（八割以上）となっています。受け取り単価が依然として引き上げられていないことが明らかです。

「過積載の根絶、労働条件改善」、ダンプ規制法の原点に立ち使用促進運動に取り組み中です

広島ダンプ支部では、これまでの経験や教訓にも学び「ダンプ規制法」の原点に立ち「法

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
広島ダンプ支部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目二九一三〇三
TEL (082) 2351305
FAX (082) 2351305
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp



指導の目が届かないところでは過積載はやりたい放題のところもあり（県内の公共工事現場で2018年1月組合撮影）

2018年キャラバン日程

- 一日目
7月10日（火）
 - ・中国地方整備局 9:30～
 - ・広島県土木建設局 11:00～
 - ・広島県警 13:20～
 - ・日建連 14:20～
 - ・広島市 16:00～
- 二日目
7月18日（水）
 - ・広島県建設工業協会 10時～
 - ・福山市 13時30分～
 - ・東部建設事務所 15時～

（終了は午後4時予定）

一二条に規定する「団体として「使用促進」の要求書を出して元請会社と交渉を継続しています。来月の「ダンプキャラバン」でも要請の中で取り上げます。しかし、組合員が参加する「使用促進運動」にすることが重要です。

七月に「就労集会」を開催

します。ご参加を。

そのためにも組合では、「使用促進運動」の意義と目的をよく理解してもらうことが重要と考え「就労集会」を来月開催します。過去にも広島市内で「就労集会」を行いました。参加者はごく小人数でした。今回は福山で開催する予定です。日程等は後日お知らせします。

徒然草

■ 昨年の今頃の状況覚えておられるだろうか？アメリカと北朝鮮の関係は一触即発の状況。「おいぼれ老人」とか「小さなロケットマン」とのしり合い、世界中を不安に陥れていた。しかし六月一二日に両国

首脳が、歴史的にも初めて顔を合わせて会談し、緊張局面は転換することになった。平昌（ピョンチャン）オリンピックを前にしてこのような状況を見越していた人もいた。◆ 韓国のムンジェイン大統領もその一人だろうと思う。彼を抜きにして今回の米朝首脳会談は実現しなかったと思う。ムンジェイン大統領の存在は大きいし、懐の深い理性的な努力は称賛に値するものだ。◆ 一方でアベ首相は、全てがアメリカ頼み、トランプ頼みで主体性なし。拉致問題もトランプ大統領が取り上げてくれたので「日朝問題なのでこれからは私がやりますよ」と、当たり前のことではないか。つい先頃までは「対話のための対話は意味がない」「核の放棄が明らかになるまでは、圧力のみ」と盛んに言っていたがトランプが態度を変えれば「全面的に一致」とコロッと態度を変える主体性のなさには呆れる。◆ 朝鮮半島の非核化が現実の問題になれば、日本を取り巻く状況も大きく変わる可能性がある。安倍政権では問題解決は不可能、退陣しかない。（M）

過労死をさらに増やす「働かせ改悪法案」、これが成長戦略とはおどましい「カジノ法案」は廃案しかない、自民・公明などに反対の声を届けよう!

安倍政権与党の自民党、公明党、そしてカジノ法案（IR法案）推進の立場の日本維新の党などは六月二〇日で終わる予定の通常国会を数の力で七月二二日まで延長し、働く者、市民のためにならない悪法「働かせ改悪法案」と「カジノ法案」を何何でも成立させようとしています。いくら働いても残業代を払わなくても良い残業代ゼロ制度（高度プロフェッショナル制度）は財界からの要求、カジノ法案は、刑法で禁止されている賭博を合法化することになるが、その根拠も示されておらず、とにかく「大阪万博と一緒に（外国人を）大勢呼び込み、経済活性化につなげたい」ことが大きな理由になっているだけです。外国人観光客は現在、毎年増え続けており、カジノ誘致が「成長戦略」とはまさにおどましい限りです。

北の大地に老若男女三六〇人が集い学んだ 建交労フェスタ北海道（六月一五～一七日）広島から五人

沖繩の闘いへの連帯の集い パークゴルフ、小林多喜二記念館の見学など多彩に取り組み、全国の仲間と交流しました。（武田事務局長）



（写真上）建交労フェスタ参加者70人が作家の小林多喜二のゆかりの場所をツアーで訪問したことが、17日付の地元の「北海道新聞」に掲載されました。好天のもと小林議長、武田事務局長も参加したパークゴルフの様子（6月16日・写真下）

役所の発注現場で 過積載やり放題!

右の2枚の写真は、中国地方整備局発注の同じ現場のダンプですが、上はほぼ定量積載状態ですが、下のダンプはコボレンを超える積載オーバー状態。地元の人からの連絡で組合が確認に行きましたが、翌日発注者である中国地方整備局広島国道事務所には是正を申し入れました。



中国フェスタ・ヨさんべ 学習と交流に参加しよう!

今年で3回目となる「建交労中国フェスタ」が一月二〇（土）～二二日（日）島根県大田市三瓶（さんべ）で開催されます。「みんなで力を合わせて仲間づくりをすすめよう」をスローガンに、これまで二回は庄原市を中心に開催してきましたが、実行委員会で、今年には島根県で開催することに決定し、武田喜成青年



部長を中心に計画がすすめられてきました。皆さんぜひご参加ください。（写真は、ゆるキ

今後の組合活動日程

- 六・二九 生公連事務局会議
- 七・三 七月「三」の日行動
- 七・五 ヒロシマ労連評議員会
- 七・七 核兵器禁止条約採択一周年集会
- 七・一〇 ダンプキヤラバン（一日目）
- 七・一一 事業団・高齢者キヤラバン
- 七・一四 企業組合広島定例会
- 七・一八 ダンプキヤラバン（二日目）
- 七・二二 企業組合呉定例会
- 七・二八 ダンプ支部合同役員会
- 八・三 建交労反核トラックキヤラバン到着
- 八・四 国民平和と大行進が広島到着
- 八・五 核兵器廃絶・建交労全国交流会広島
- 八・六 被爆七三年・ヒロシマ原爆の日
- 八・九 被爆七三年・ナガサキ原爆の日
- 八・一八 企業組合福山定例会
- 八・二五 ダンプ支部合同役員会
- 九・一 建交労第二〇回定期大会（三日）
- 九・八 企業組合広島定例会
- 九・一五 企業組合呉定例会



今年には被爆73周年、もうすぐ8月6日がやってきます。核兵器廃絶と原水爆禁止世界大会の成功を願う「網の目平和行進」が行われました。（6月22日・山田参加）